

連絡先：自動車局 審査・リコール課 リコール監理室  
 TEL：03-5253-8111 内線42354  
 アドレス： <http://www.mlit.go.jp>

リコール届出一覧表

リコール届出日：平成29年2月14日

リコール届出番号	3989	リコール開始日	平成29年2月15日
届出者の氏名又は名称	ヤマハ発動機株式会社 代表取締役社長 柳 弘之 問い合わせ先：カスタマーコミュニケーションセンター 0120-090-819		
不具合の部位（部品名）	①始動装置（イグニッションスイッチ） ②燃料装置（燃料タンクのブラケット）		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	①イグニッションスイッチにおいて、接点板の材質が不適切なため、洗車等によりイグニッションスイッチ内部に浸入した水により接点が腐食することがある。そのため、そのまま使用を続けるとイグニッションスイッチが接触不良となり、最悪の場合、走行中に原動機が停止するおそれがある。 ②燃料装置において、燃料タンクをフレームに固定するブラケットの取付穴の位置が不適切なため、燃料タンクが正しい位置に取付けられずエンジンからの振動がブラケットを介し燃料タンクに伝わるものがある。そのため、燃料タンクとステーが共振しステーと燃料タンクの溶接部に亀裂が生じ、最悪の場合、燃料が漏れるおそれがある。		
改善措置の内容	①全車両、イグニッションスイッチサブアッセンブリを対策品と交換する。 ②全車両、ブラケットを対策品と交換する。		
不具合件数	①146件 ②なし	事故の有無	①なし ②なし
発見の動機	①市場からの情報による。 ②海外市場からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	・使用者：ダイレクトメールで通知する。 ・自動車分解整備事業者：日整連発行の機関誌に掲載する。 ・改善実施済車には、車わく（車台番号打刻位置付近）にNo. 3989のステッカーを貼付する。		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号（シリアル番号）の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
ヤマハ	EBL-RH07J	「YZF-R3A」	RH07J-001001～RH07J-004360 平成27年3月19日～平成28年12月15日	2,188台	①②
		「MT320」	RH07J-001641～RH07J-004640 平成27年8月31日～平成28年12月28日	1,255台	①②
	JBK-RG10J	「YZF-R25」	RG10J-001001～RG10J-017680 平成26年10月6日～平成28年10月26日	10,294台	①②
		「YZF-R25A」	RG10J-006561～RG10J-017721 平成27年2月12日～平成28年11月22日	2,683台	①②
		「MT250」	RG10J-008962～RG10J-018240 平成27年6月22日～平成28年12月13日	3,487台	①②
	(計2型式)	(計5車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成26年10月6日～平成28年12月28日	(計19,907台)	①19,907 ②19,907

【注意事項】

リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。